

シグマ研究委員会
燃料計算専門部会燃量計量
ワーキング、グループ会合 議事録

日 時 昭和50年12月11日(木) 13:30~17:30

場 所 原研東京本部第3会議室

出席者 久武(東工大), 山田(早大), 吉沢(広大), 橋爪(理研)

村田(NAIG), 岡野(京大炉), 喜多尾(放医研), 田村(原研)

検討資料 INDC Venna 会合出張報告(更田一部)

議 事

1. 前回会合議事録確認

2. 報 告

1) シグマ委員会(11月13日)および幹事会(9月11日)の報告(久武)

昭和51年度予算要求では, 核データ研究室→核データ室委託調査費,
シグマ委員会費などを含めて1150万円となっている。

JENDL-1に関連して, 日立, 三菱原子力, 九大などに委託調査が
出された。IAEA Consultants' Meeting on Charged Particle
Nuclear Data Compilation に出席した大沼(東工大)より荷電粒
子反応核データの進行状況についての活があった。

2) INDC Venna 会合出張報告書(久武)

INDC Venna 会合(1975年10月)の詳細を出席者の更田委
員より報告していたと予定であったが, 都合により本会合に欠席のため,
次回に延期となった。

Safeguards Techniques 関係では要求核データ(III)の提出について
working paperが出された。またWRENDAの改訂は一年毎となっ
ていたが, 次回より2年毎となる模様である。

3) γ 線標準について(吉沢)

委託調査は順調に進行している。また、 γ 線標準の研究として、電総研、広大、立大、放医研などで ^{134}Cs 、 ^{207}Bi 、 ^{137}Cs 、 ^{51}Cr など300~1300KeVのエネルギー領域の整備に着手する予定である。

4) 核データ収納(村田)

崩壊熱 W. G. では宝珠山(三菱原子力)試案がつくられた。これは ORNL の核データ・ファイルシステムに崩壊チェーンの核データ(親核のレベル、崩壊モード等)を追加したものである。

3. 要求核データ(III)提出, WRENDA-75の改訂(田村他)

1) 要求核データ(III)が完成し, CCDNへ送付する準備はほぼ整っている。この写しは当 W. G. のメンバーに配布してある。^{*}誤り; 変更などはまだ可能である。CCDNへの送付は11月を予定していたが WRENDA の一年毎の改訂の時期と重なったため, WRENDA-75の修正に新要求として含ませることになった。

* その後要求者にも送付されている。

2) WRENDA-75の改訂について CCDN より, 改訂版の送付を1976年1月1日までに送付することとして依頼してきた。早急な作業が必要であるため, つぎの手順で行うことになった。

a) 要求内容の変更 要求者

b) 要求内容の達成度 第1回および第2回スクリーニング

(Status) 担当者

◇ Total γ -ray yield 吉沢, 加藤, 喜多尾

◇ Half-life 橋爪

◇ Fission Product mass yield spectrum 梅沢, 村田

◇ Neutron cross section 岡野, 西村

c) 取りまとめおよび送付 田村

各担当者より Status についての調査状況が報告された。a), b) の

作業は順調に進行しているので、ほぼ期限改訂版を送付できる見通しである。

3) JAERI-memo

要求核データ(Ⅲ)の検討経過をJAERI-memoにまとめる。

4. 次回予定

1) 日時 3月18日 13:30~17:30(予定)

2) 場所 東京本部

3) 議事(予定)

i) INDC Venna 会合(更田)

ii) 核データ収納(松本)

iii) 要求核データ(Ⅲ)の検討経過まとめ

JAERI-memo

iv) 今後の進め方